

市街化調整区域内における建築形態制限

本市では、市街化調整区域内における建築形態制限値を次のとおり定められています。

また、キャンプ座間の返還跡地（地区計画図参照）については、快適で質の高い地区環境の形成を目指すため、地区計画の指定により建築制限を緩和しています。

市街化調整区域内における建築形態制限

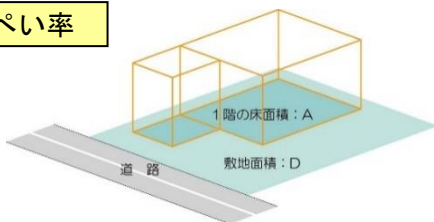
No.	1
対象区域	市街化調整区域
決定告示日	平成15年12月22日（平成16年4月1日施行）
告示番号	県告示第1526号
建ぺい率	50%
容積率	100%
道路斜線制限	勾配∠1.25
隣地斜線制限	20m+勾配∠1.25

キャンプ座間返還跡地地域地区における建築制限

No.	2
対象区域	キャンプ座間返還跡地地域地区
決定告示日	平成26年4月18日（同日施行）
告示番号	県告示第223号
建ぺい率	60%
容積率	200%
道路斜線制限	勾配∠1.25
隣地斜線制限	20m+勾配∠1.25

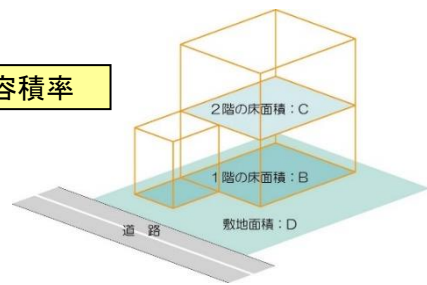
建ぺい率及び容積率のイメージ

建ぺい率



$$\text{建築面積 (A)} \div \text{敷地面積 (D)} \times 100\% \geq 50\%$$

容積率



$$\text{延床面積 (B+C)} \div \text{敷地面積 (D)} \times 100\% \geq 100\%$$

道路斜線及び隣地斜線のイメージ

